

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>



133号
2011年7月6日

ときわ台の景観を守る会
ときわ台まちづくり委員会
代表 鈴木博之 近藤洋子
事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 藤和マンション行政訴訟

第一回口頭弁論が6月28日(火)東京高裁809号で行われました。

裁判官はろくに検討もせず結審したい風情でした。法律論はもう結構だそうです。景観の問題が重視され、景観法ができたのは7年前なのですから、それ以前の建築基準法や都市計画法に景観についての言及がないのは当たり前です。建築基準法レベルでの法律違反云々の話なら建築審査会で終わってしまう問題ではありませんか。

私たちが裁判所に求めているのはもっと大所高所に立った判断なのに、行政におもねった判決しか期待できないのはとても残念です。

弁護士さんが切望して、8月23日にもう一度法廷は開くそうです。ポーズばかり取らないで、本当に人間のための裁判をやってほしいものです。

○ みどりに水を！

暑い日が続いています。

“節電と熱中症”と毎日のようにテレビや新聞で対策が叫ばれています。人間や動物が熱中症になってしまうのと同じ様に、庭や公園のみどりの木々も暑そうです。みんな枯れ枯れになって、特に並木通りのツツジの木も酷暑に苦しんでいます。お近くの住民の方々に、水遣りのご協力をぜひお願いします。そして又春には沢山の花が咲いてくれる事を願って・・・

M

○ ちょっと良い話

Tニタの社員が、駅前から会社までの道を出勤途中にゴミひろいをしています。数ヶ月に一回ぐらいのようですが、未だタバコの吸いながら捨てていく人が多い中、うれしいことです。

G・H

○ 協力金のお礼

「ときわ台の景観を守る会 ときわ台まちづくり委員会」の活動に対して、前号で折り込み用紙を折り込み、皆様のご支援をお願いいたしました。

お陰さまで90件近くのお振込みをいただき、現在の行政訴訟を十分乗り越える金額に達しました。有難うございました。

いただいた協力金は大事に使います。明細は協力くださった方と会員に、領収書と共に近日中にご報告いたします。

振込用紙に書かれていたご意見の幾つかを紹介します。

- ・ いつも町のために活動していただきありがとうございます。
- ・ 大事な事をおまかせして居ります。どうぞお体お大事に宜しくお願い致します。
- ・ 毎回ときわ台の街の様子やお花のことを充実した文面でお知らせいただきありがとうございます。皆様のご苦勞を感謝しております。
- ・ 地元ではないし、年齢的にも具体的な活動参加はムリですが、このような保存活動をして下さること、頼もしく、嬉しく思います。以前からずっと、この街が大好きです。ぜひ頑張っていたきたい。

(最後のご意見はギャラリー一服部に託されたものです)

いつも暖かい皆様のご支援を感謝いたします。私たちの運動も何度も潰されそうになりながら、2003年から8年間続いています。これからもこの街の環境・景観維持のため、私たちにできることを模索しながら努力していくつもりです。

土地の有効利用という甘言

震災後、高齢者が高層階に住みたくなないと低層住宅地に住処を求める動きがあるのだろうか。また、住宅に対するエコポイントが締め切りになるのか、このところ低迷していた土地の売買がいくつか聞かれるようになってきた。

共同住宅専門で知られているD宅建が何度も訪れてくる。もちろん土地の有効利用とやらでアパートを建てて収益を図らないかという、一見うまそうな話だ。

この常盤台に住みたいと皆が思っているとしたら、それは住環境が良いからで、静かな一戸建て低層住宅地という特徴をつぶしていったら、普通の街以下になってしまうのは明らかだ。街の活性化とか町おこしとか経済活動からめて盛んであるが、住民が増えれば良いというものではない。その町の長所を失っては元も子もないというものだ。

D宅建の営業マンも、歩いていて気持ちが良いですねと、常盤台の戸建住宅地の良さを褒めていたが、そう思うのならこの辺で営業しないでくださいね、と言ったら苦笑していた。

なでしこ？ジャパン

女子サッカー世界選手権優勝は久方ぶりに手放して祝福できた快挙だった。粘り強く諦めずに劣勢をはねのけた結果の優勝は素晴らしかった。彼女たちは「大和なでしこ」のイメージとは程遠いパワーにあふれていた。日本の女性にしとやかさや大人しさを期待するオジサン感覚のネーミングは似合わなかった。

プラタナスの並木

ヨーロッパの古い都市を巡ると、どこでも立派なプラタナスの並木を見ることが出来る。

幹の緑青をふいたような美しさは、ギリシャ彫刻が整然と並んでいるようだ。しかも殆どが直径五、六十cmの太さで、五、六階の建物を超える高さでそよいでいる。何世紀も大事にされてきたことが良くわかる。

ふりかえって常盤台のプラタナス並木を見ると、なんと虐げられた姿であることかと可哀そうになってくる。

電線に障るからというのは本末転倒で、電線を地中化しない東電が怠慢なのだ。紫外線やら放射能やらを頭上でさえぎってくれる有難さしかけがえが無い。とはいえ高齢化が進んでいるこのごろ、秋の落葉掃きの苦労を軽減する清掃車の導入はなんとか実現できないだろうか。

Yさんの逝去

昭和十八年から常盤台住民だったYさんが亡くなった。一代目がまた一人減ってしまった。

もつと色んな話を聞いておけば良かったと悔やまれる。もつともYさんの話は、きちんとした人だけに他人にも厳しいものが多かった。昨今は自分を甘やかしているから他人にも厳しくできない人間ばかりなので、Yさんの苦言を感謝して取り入れることができないのかもしれない。あんなに帰りがついていた家も、いずれ更地とされ、売りに出されるのだろうか。長年茶道の弟子を育ててきたお茶室ごと、誰か継いでくれれば、と思うのだが・・・

常盤台公園のはなづくり

今年のアガパンサスは公園に限らず見事な花付きでした。南方出身の植物は、地球温暖化に伴って元気が良いのでしょうか。

ユリは何種類も咲いているのでそれぞれ花期がずれ、長く楽しめます。Yさんが提供してくれたカサブランカは一番あとに咲くようです。

去年十一月ごろ咲いてびっくりさせられたダリアが、六月には咲きました。冬間にまた咲くとは思えませんが、植物もリズムが狂ってしまったようです。

こう暑いと人間もぐんなりしてしまいます。我慢も限度がありますから、脱水症状や熱中症にならない程度に冷房を入れて、脱原発社会を目指しながら、省エネ生活に知恵をしましょ。

公園の芝生の雑草取りは、蚊とも戦わなければならず、うんざりしているのですが、池袋のジュンク堂で、時々トクセツションがあり、九月八日には「雑草と楽しむ庭づくり」という曳地トシ・曳地義治さん夫婦ふたりの、個人庭を専門に、農薬を使わない病虫害対策を実践するなど、自然環境に配慮した庭づくりとメンテナンスの話があるそうです。蚊や蟻・雑草と共存する道が見つかるかも？

定例会九月十日（土）七時

「ギャラリー服部」にて

